

体裁・記載事項について

1. 論点

頁数が多く、他章と構成が異なるとともに、記載内容（定義、根拠法令、活動内容等）にバラツキもあるため、使いにくい

2. 対応案

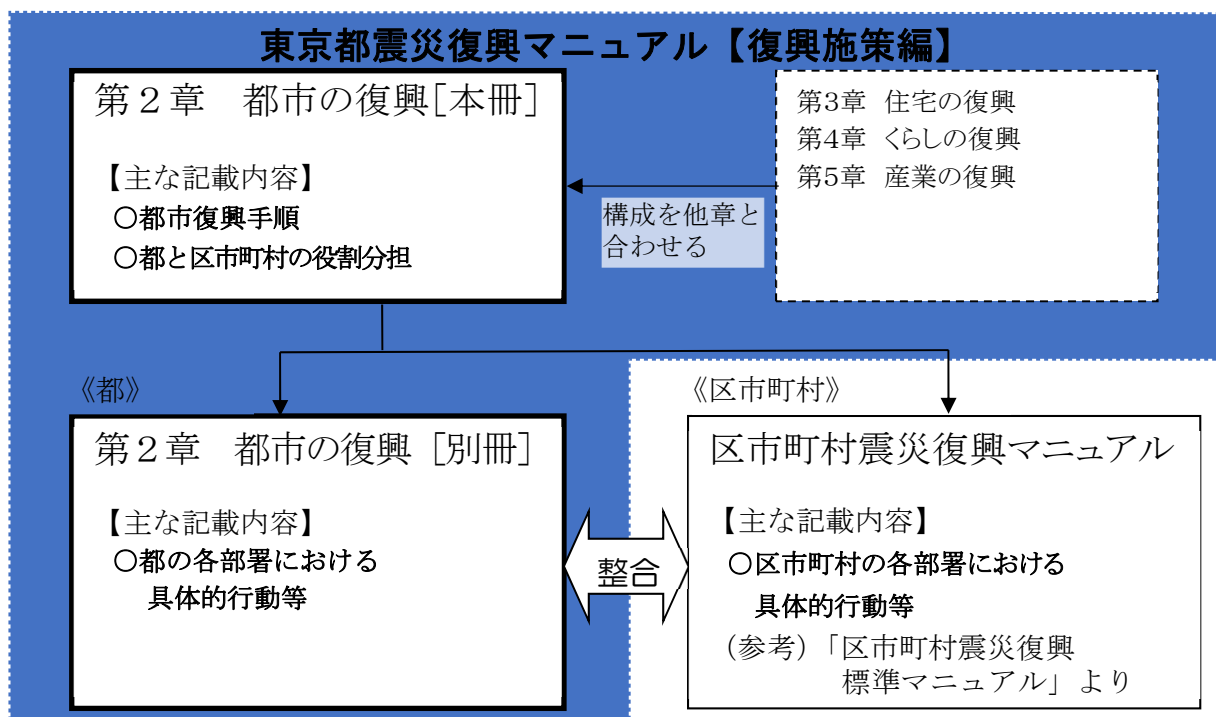
マニュアルの分冊化や内容の精査により、使いやすいマニュアルの体裁記載事項に修正

（１）他県の事例※や、他章の記載内容等を踏まえ、分冊（本冊、別冊）

[本冊]:「都市復興手順」と「執行体制(都と区市町村の役割分担)」を記載

[別冊]:都の各部署における具体的行動等を記載

(「区市町村震災復興マニュアル」と連携が図るように、同様の内容を記載)



※他県の分冊状況:高知県は【計画編】【手続き編】、愛知県は【計画編】【手続き編】、埼玉県は【事前の取組編】【発災後の手引き】にそれぞれ分冊

（２）都市復興手順の各段階の記載事項を精査し不足事項があれば拡充し、記載内容を統一

(3) 構成案

- 本冊は、「都市復興手順」と「都と区市町村の役割分担」について、他章と整合を図った構成で説明
- 別冊は、「都の各部署の具体的な活動」について、「区市町村震災復興標準マニュアル（区市町村の各部署の具体的な活動）」と整合を図った構成で説明

